謹啓　初夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。亡き妻の一周忌法要には、わざわざ遠方よりお運びいただき、本当にありがとうございました。

　あなたさまのことは生前、妻よりいろいろ聞かせていただいておりました。故郷の野山を駆ける姉妹のようだった、とうれしそうに思い出話を語ってくれたものでした。そんなあなたさまに、一周忌法要に来ていただけたら、どんなに妻も喜ぶかと図々しくもご案内状を差し上げたしだいです。

　こちらの心配をよそに、早速駆けつけてくださり、感謝の言葉もありません。

　わざわざお越しいただきましたのに当日は、なんのおかまいもできず大変失礼いたしました。どうか、お許しください。これから梅雨にかけ体調を崩しやすい季節です。くれぐれもご自愛のほどを。

敬白